

一、先づ本号発行のおくれたことをお詫び申し上げます。会費、原稿印刷所の都合其他の支障で、心ならずも今日に至りましたが、幸い明るい見通しがつきました。今後は原稿さえ集れば定期発行が出来ます。印刷の都合もありますから、次号の原稿は早目に送つて下さい。

二、本会委員長渡辺澄夫氏は昨年十一月文学博士の位記を受けました。本会を取り敢えず祝賀会を市内東洋軒で催し、清原貞雄氏以下参会者多数、盛会裡に氏の前途を祝福した。

三、本会では去る九月廿四日、市外東植田の古刹飛来小靈山寺で左記の調査と講演会を催した。

A、講演会

- 1、大友時代(南北朝)の靈山寺……………分大教授 渡辺澄夫
- 2、地理的に見た靈山寺とその景観……………全 兼子俊一
- 3、靈山寺の仏像に就て……………医学博士 辛島詢士
- 4、徳川時代の靈山寺……………立川輝信

B、調査研究

本寺所蔵の古文書、古地図、仏像、古塔其他の調査研究を行い  
学界未見の古文書を発見した。

四、別項所載の通り「大分の歴史と文化」もいよいよ来る十一月十五日発行となります。まだ申込みない方は至急本会又は常任委員へ申込み下さい。(立川)

発行はおくれたが、幸、予期以上の原稿が集り本号の発刊を見た。感謝に堪えません。ただ地方会員の投稿が少ないのは遺憾です。大飛躍を企図する本地方史。プライチイに富む地方会員の投稿、編集上の希望、会員の倍增、会費の完納を念願し、あわせて続書の秋、会員各の位御健勝と斯道への御精進を祈つて筆をおく。(立川)

昭和三十六年十月二十日 印刷

昭和三十六年十月二十五日 発行 会費 年三〇〇円

本号頒価 二五〇円

編輯兼 代表者 渡 辺 澄 夫  
発行人

印刷人 高 井 久 雄

印刷所 大分市上野 電話三七七五番  
三恵印刷株式会社

大分市駄原 大分大学  
学芸学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会  
(振替下関五二九四番)